

お知らせ

産業技術総合研究所 地質調査総合センター

# 「地質情報展2004 ちば 海から生まれた大地」

私たちの研究成果である地質図などその情報は、地域特有のものであり、そこに生活する人々に広く活用されるべきものです。地質調査総合センターでは、こうした考えの下、地質情報展を毎年、場所を変えて開催しており、今年は千葉県立中央博物館で開くこととなりました。

会場では、千葉県に関係する地質情報など、様々なテーマのポスターを展示し、その内容について地質調査総合センターの研究者が直接説明にあたります。また、地質標本館から、珍しい化石や鉱物の標本を展示するとともに、あなたの疑問に答える地質相談コーナー、化石レプリカ作成など、お子さんにも楽しく学べる「体験コーナー」を用意しています。みなさま、ご家族連れでご来場下さい。

入場無料（ただし、博物館に入るのに入館料が必要です。）

日 時：9月18日(土)～20日(月) 9:00～16:30

会 場：千葉県立中央博物館2F企画展示室ほか（千葉市中央区青葉町955-2）

主 催：独立行政法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター、日本地質学会

後 援：千葉県、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、関東地質調査業協会、千葉大学理学部

お問い合わせ：地質調査総合センター事務局 電話 029-861-3603 Fax 029-861-3602

同時開催 市民講演会

「天災は忘れた頃にやって来るか？  
— 憂いのないよう備えよう」

日 時：9月19日(日) 13:00～16:00

主 催：日本地質学会

会 場：千葉県立中央博物館 講堂（先着150名）

講演内容：

1. 大地震は繰り返す
  - 大地震の発生予測と地震・津波防災
  - 津村建四朗（(財)日本気象協会参与、地震調査研究推進本部 地震調査委員会委員長）
2. 富士山の最後の噴火、将来の噴火
  - 富士山の噴火で首都圏が受ける影響
  - 藤井 敏嗣（火山噴火予知連絡会会長、東京大学 地震研究所教授）
3. 房総半島の地震と地磁気の変動
  - 伊勢崎修弘（千葉大学理学部教授）
4. 災害に負けない街づくりに向けて
  - 都市における防災対策の現状と課題
  - 中山 俊雄（東京都土木技術研究所主任研究員）

お問い合わせ：千葉大学理学部 津久井  
電話 043-290-2837

9月18日(土)～20日(月)  
9:00～16:30 (入館は16:00まで)  
千葉県立中央博物館  
入場無料  
ただし、入館料（大人300円、小学生150円、小・中学生以下無料）が必要です。  
主催：産業技術総合研究所 地質調査総合センター  
日本地質学会  
後援：千葉県・千葉県教育委員会  
千葉県教育委員会  
関東地質調査業協会  
千葉大学理学部  
「天災は忘れた頃にやって来るか？  
— 憂いのないよう備えよう」  
日 時 9:00～16:30  
会 場 千葉県立中央博物館 講堂（先着150名）  
主 催 日本地質学会  
お問い合わせ 043-290-2837

地質情報展 2004  
ちば  
海から  
生まれた大地

地質情報展からなり立てられている千葉県  
の地質と、海洋・火山・地熱・地質・天然資源  
など、さまざまな地質情報を総合的に展示し、  
地質科学分野の研究者がやさしく解説します。  
また、お子さんでも楽しめる「体験コーナー」  
もたくさん用意しました。ぜひ、ご家族連れで  
ご来場下さい。

相談コーナー  
いろいろな石に触ってみよう・つづねよう！  
化石の化石の化石をさがそう！  
パソコンで地質図をつくってみよう！  
砂で造る、砂で造る！  
化石をさがそう！  
てんとう虫の化石をさがそう！  
べつべつとつづねよう！  
いろいろな化石をさがそう！

お問い合わせ：地質調査総合センター事務局  
http://www.gsc.go.jp  
http://www.gsc.go.jp/chiiba  
e-mail: gsc@res.isg.ac.jp  
029-861-3603 Fax: 029-861-3602  
〒260-8601 千葉県千葉市中央区青葉町955-2